

富岡市において自動運転実証実験を行います

～富岡製糸場周辺を巡る「富岡まちなか周遊観光バス」運行コースで走行実験～

国立大学法人群馬大学（学長：平塚浩士、以下「群馬大学」）、富岡市（市長：岩井賢太郎）、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉恭三、以下「あいおいニッセイ同和損保」）は、2018年3月25日から4月1日までの間、富岡市の「富岡まちなか周遊観光バス」の運行コースの一部において、時速20キロ未満の低速電動バスを用いた自動運転走行の実証実験を行います。

本実証実験は、全国有数の観光資源である富岡製糸場を中心とした観光地での移動・周遊の手段として、自動運転を主とする次世代モビリティの導入を目指すことを目的に実施します。有人で低速走行の自動運転バスを実験車両に用い、「富岡まちなか周遊観光バス」の既存の運行コースを実験場所に、観光来訪者や市民に体験していただく機会を提供するとともに、観光地域への効果検討、道路・交通や地域環境、社会受容性、自動運転技術などに関する検証、安心・安全に対する意識調査等を行います。

また、実証実験の開始にあわせて、3月24日（土）の富岡市役所グランドオープンイベント開催日には、自動運転バス出発式を下記のとおり行いますので、お知らせいたします。

実験スケジュール

○2018年3月25日（日）～4月1日（日）

※毎日・午前1便・午後1便・乗車定員14名

※1回あたり40分程度で走行

（まちなか1周。自動走行・手動走行混在）

※試乗者に対するアンケート実施のご協力をお願いします

※天候等により実験走行を中止することがあります

[自動運転バス出発式]

日時：2018年3月24日（土）10時～11時

会場：市役所新庁舎 庁舎前ひろば

主催：富岡市

概要：挨拶、実験概要説明、試乗デモ等

実験車両



「レベル4」（専用空間）＋「レベル2」（混在交通（公道））

「車両自律型」技術

定員：16人（テストドライバー含む）

座席：対面ベンチ型シート

速度：最高速度20 km/h 未満（自動時・手動時）

駆動：全10輪モーター駆動

全長：4.9 m

全幅：2.0 m



自動運転対応低速電動バス eCOM-10（イーコムテン）

実験車両は、車体の内部や上部に実験内容に応じた様々な装置を法令に適合した方法で取り付け、実証実験実施中であることを表示した上で、自動運転実験走行を実施します

実験ルート

富岡まちなか周遊観光バス

- ◆往路 富岡駅東駐車場（発）＞ 上州富岡駅前 ＞ 宮本町まちなか交流館 ＞ 仲町まちなか交流館 ＞ 富岡製糸場前
- ◆復路 富岡製糸場前 ＞ 銀座まちなか交流館 ＞ 仲町まちなか交流館 ＞ 宮本町まちなか交流館 ＞ 上州富岡駅前 ＞ 富岡駅東駐車場（着）

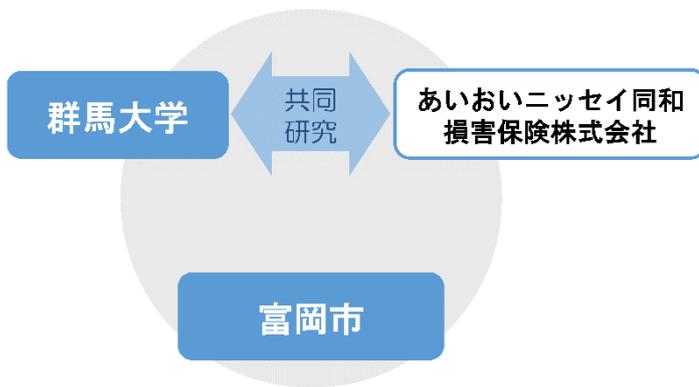


地図：しるくるとみおか【富岡市観光サイト】より

安全性

本自動運転実証実験は、警察庁が定める「自動走行システムに関する公道実証実験のためのガイドライン」（平成 28 年 5 月）に則り実施します。自動運転中の運転席には、車両の免許を持ち、自動運転システムを十分に理解した運転手が、ハンドルに両手を添えながら搭乗しています。車両は、運転者の運転操作が最優先されるよう設計がされて、一般的な自動車と同様の安全性が確保されています。なお、万一の事故の際の対応や自動運転システムの安全性向上を目的に車内にドライブレコーダーを設置します。

実証実験の役割分担



	役割
群馬大学	自動運転システム実証実験パッケージの提供および実証実験の実施、その他関連する自動運転実証実験事業等
富岡市	実験フィールドの提供、実験参加テストドライバーの募集、公共機関等関係機関との調整、情報発信等
あいおいニッセイ同和損保	保険事業を通じた地域や暮らしへの安心・安全の提供、自動運転バスの安心・安全に対する意識調査等

群馬大学は、次世代自動車産業振興に資する産学官金連携イノベーションの拠点形成をめざし、2016年12月に「次世代モビリティ社会実装研究センター」を設置し、関連分野の企業や自治体との連携・協力関係のもとに、地域社会に根づく自動運転による移動サービスの創出に向けた研究と社会実装をめざした活動を進めています。限定された地域専用の自動運転研究開発に取り組み、実証実験の実績を蓄積していきながら、2020年に、技術的にも社会的にも自動運転に対応していく社会の実現、完全自動運転をはじめとする次世代モビリティの社会実装をめざします。

富岡市は、2016年より富岡駅東駐車場からまちなかの間を低速で走行する電動バスを運行しています。車内では、観光客の滞留時間を延ばすため、まちなかの見どころや商店などの情報発信（ガイド）を行い、来訪者の利便性の向上、話題の提供を図っています。また、環境に配慮した電動バスを走らせることで、地球温暖化の防止と環境教育に役立てています。

あいおいニッセイ同和損保は、自動運転車の普及の途上で顕在化する諸課題に対していち早く対処していくため、2016年12月に群馬大学と産学連携協定を締結し、群馬大学との共同研究を通じて、保険商品面および事故の対応面からの諸課題の研究を進めています。また、会社行動指針の一つとして「地域密着」を掲げ、地方公共団体や地域金融機関が各地で進めている地方創生の取り組みを支援しており、2018年2月に富岡市と地方創生に関する包括連携協定を締結しました。今般の実証実験への参画により、地域や暮らしへの安心・安全の提供および観光振興への協力をを行い、地方創生の取り組みをサポートしてまいります。